源氏小鏡

一

源氏目録

一 桐壺
二 はゝきゝ
三 空蝉
四 夕顔
五 若紫
六 末摘花
七 紅葉賀
八 花宴
九 葵
十 賢木

内閣文庫

一 桐壺

桐壺帝の御代の事大内のうちあまた御殿の有る中に
いとやんごとなき御つかの事し以桐壺殿を先きとし給ふ
女さうかくとせず御覧そなはすつわれうと位とりうれ
ぶのうちに一の人なんとれ出給ふ中に又さう別
もて其外人かるかりれうとれ実ありてはうも
位人なうへ高貴の方御門ことに恐れ
せず人かの人の御部屋うねうめすところそ極人かを
ものに御覧位ひ位ひ位ひ位ひ位ひ位ひ位ひ位ひ
さうせず人行すれ程とれうとうとうとうとうとうとう
やすらんかさらめうやはとうとうとうとうとうとう

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

初てゆひ　ちゝ記　盃乃ほいて

[illegible]

さの系　[illegible]

きんしのきろんせこ　[illegible]

[illegible]

かの久ふくの日ひきいの日　[illegible]

ひもてゆうせてまつり　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

二のまちのうち　文えんのじもの[illegible]

[illegible]

[illegible]

平成なりて　きくの屋と[illegible]

世界[illegible]中れの物[illegible]

[illegible]

[illegible]

かしらをあぶるなのうふに
ちらしをけるはきで
とまりゆへ氏長ぶとはいひられ此へ
しるもありいあるうるうるうるうるはは
とうるへきくもはけるはは
人をうるれをあるいのかうふうてゆるうるうるはとひけ
してまりうるてとうくいいてわのうふあるまつ
ゆてうるるうるるるるのうるるるるふるもあひえて
つるいるうるうるるるる

やまとうたのうらなりけるこの女のりょう
んをんなをんなのおとうとなりけるをこの
うたをよみてとりつかせたりけり
夕されば日のくれぬるものとかはいかなる
さとにあきはあるらん
しにうかりきかりけるとりのこえ
いとかなしてかすみのうちにはるはあれど
とりのきえなくてはるはあるらん
うちなびくはるのやまかぜ
ひとりのかきねにうぐひすぞなく
あらたまのとしのはじめ

ありきをりきかせ
人のはじめ今

とよみてそのうらにはべりけるをとこ
てをりをりにみうしなひてをとこ
いひけるなかにはべりけるをとこ
十七のさいはべりけるをとこ
のむすめのもとへつかはしける
ふいひけるをとこ
あくしてさいふもちてあるを
とりの鳥あやしのあるを
いてこそとりしかりてこそ
ちはやふるかみのいさめしをとこ
初うまをすくせといひけるやうなり

やまとなでしこ

なつかしきはなの中なる
ひとのなをたづねまほしき
とまりをのきゆたかにいくはこの
しくもつくしと世中をそなたとらみて
世をかなしうしていとまをいそぎ
さぶらひてとゝのへ初つまをとゝ
てきこえにたかんとなるを

空惜

世をいとうきみをのがれて
らたいまはの女ぎみのうつくし
かりてこの家のあるじとなりぬ
れこそとゝ[illegible]
ちこそ[illegible]
すをかしのうへ[illegible]
まもあり[illegible]
のもとにあるあれもとにあ
て天とさせく我[illegible]
[illegible]
たまひしくいこきみとは[illegible]
いまはのうへ[illegible]
とつをもて[illegible]

みな人きはめなれど人つくりきこえと思ひて是を源氏
さの事はらるかられてこの人をつまりてのこきこえ給ふく
そのそれぞれ人つくりはまむすめ所のみ方とて
ぐごとらていつる

上のこ

碁のかちの云祭　碁　ひまみ　ゆくめこ
左をとしき祝　一ぐまき　とりひ火の所
こきみ　十ぐ式　ぬ　ぬ
ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ

られを碁打られとはすけ　みれ志碁うち
もてかをくるかうて碁打てとるふ

あるとの碁うて上門まろうに上のひいて碁打ケ
の母をとけて碁ぬていとらくきて上りてすあてく
きるあ母をとすこうろ移るむすあのかくそ
たりかそれをられをのこ　ときてかくまあ世み
のりあけのくきるねはうり碁ーくうりけむすあ
ホ方ひ碁ひくたこうあ　ろ色をあまみひのく
を人くすもも碁あをを人乃ありくん碁ぬ玉を
らくを碁ひくをりけくのくりのくりけくまてまく
ひをあひうをくをのら一ま碁ホ碁うをきとむす
を碁ホの碁ホり
かのくみを乃きくをあをとむすをホ

[illegible]

人々

ほのうち風ふつけてもちかきの

なくはい寒ふうへりさてあきを

ほのみちこたきしまうしゆかたにこの人々を

さてあきをも新ほれとをつくる屋にかすみる

あも寄て一番乃ことらも清けてあれ[illegible]の屋

根の雨乃ふへぬきをきてをとりてかあり

ぬきをとは

とるをほのきあ[illegible]の

さてをのあ[illegible]なを

人々む

[illegible]の所ほのをを[illegible]

なほ人々をつ[illegible]

をををを京師をは乃ひををををふなへの

をををををいふををを人を一番ちきを

をををあをを清く屋

ゆ人をををきをれ

うをい

此巻ヲ屋をををは六條の[illegible]を雨をきをしい

せんををををををををを[illegible]をを所を

條あををいをを人をををを[illegible]を桐を

初の出門の[illegible]をを[illegible]

清ひををいをを人をを[illegible]

[illegible]

上の巻

[illegible]

[illegible]

小家

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

むらさきとうきうとうきうとうきう

[illegible]

草しら

[illegible]

[illegible]

山の島

[illegible]

はかちの[illegible]

[illegible]

[illegible]

あまたしてさうしのうへすみのことかひ給ひしをいみきと
いひしわらはうせにしかたのことをいてゝわらはゝ
てなきこゝろまひしゆすりたれいとうつくしうして源
氏のきみの給へしおもひてきこゆ
わすれていまをわすれとゝいたゝくこゝろみあけ
つゝすゑのとをゝすゝやとうつくんとかゝるのみ
といひしすゝきの一枝といふを第上源氏いとまめやかに
ふとゝ源氏ゝ式部卿宮のむすめ侍るめるいと
まことにうつくしうのはゝ源氏とよひきてまつ侍給き
のゝもしかをこゝろみそめ侍ゝとしたゝ
いとゝはゝ式部卿宮のあまうへ侍ゝとを

きやうきんの事うけ又きこえやすに物うるとていふす
ゝといふ事あゝふへゝ侍きこえつけにゝ三四て
とゝろゝゝゝ人まうゝもいとわりなうをとをものゝ
事をおもふふれけ侍ゝわつれ物ゝうとあいまう
なれとゝ侍ゝうゝそのとをけゝあとのゝ事とを
きゝそゝ給ひしそゝ事きさしたのゝ二条の院ゝ
むゝ給ひあゝ日いろゝきるときゝゝうといふるの
ゝ日ゝうゝ九月ふゝゝゝきみゝわゝまゝ十月ゝ
きんしたとゝきてゝゝゝゝ行ゝいまゝゝゝゝの物ゝ
のゝうなれゝもわゝとゝのあゝゝいゝ日ゝきゝ侍
ゝゝをゝてまつゝゝとゝわかゆゝあまとゝいひしなゝと

[illegible]

[illegible]

[illegible]

すえとはなりてこうのすりはかはふとをつむをとりてみきもの
きはるまゐはるはるはるたるみをつけるをとりてみるに
ふまをわりてきかくきぬきうう人をうはしをとうろ
みてあのひくあるのうへの河あをうれ中納もおけ
て源氏のわらはをとをはるはるはる

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
なること　　侍のけさまうる
世の中　　むつ[illegible]の愛て
[illegible]
[illegible]
[illegible]

入花宮

世尊はるのをんとうまいの紅梅の花をつきみとられ
給ふ大関の花見ありと南殿のたちてさうに花のもと
をそのゆかりとひかり紙をはりてこれをくきやく屏と
人ちけれいてるまて後とつくりかみ弁さをきんしれ
ゆこもりとのこうれ中ほとを雲のうちひきをきへつるとい
紙をはりしかうをほ立のりこのうれまひ成
あ月ゆ出ふせはひくそのこうこうを朱雀
院すきんしまゆふをちこせをこせはへいをん
しをこうちてまひのようこうれ中ほうちてつるこう
ちんとまひしくあちこうさ陪そうけはふ花

陰代の色い中なるぬへしとひはへされをうちのよの為
をくしをくはかとあるへしあるをまひをこうしかる
陪さそその乗きんしさうぬへきゆまりをとをいの為
つやのはくるあ成ものひうこうひたうすこちうきの為
ふあうき度の三ハうちを中ちをこうちうわ花世
はうれしをのかを屋をのこをあはへてたをうは和ふ
為くをものをあ紀とかうを為
をんしいをりはくなを陪ていひうをあへ為へ
そしはをのはうれのうこうしの世為ををこうを陪
為こうきをんの為れはいはうをとのきをとをこうを
こうふ為はへんをそをうをれしを代花のをん

上八

[illegible]

[illegible]

[illegible]

すべてかうした物ごとそのまことを失ふ如くにてまことなきしのうらみてなりし侍らん

六葵

此葵は物ごとに一の事紀はきんし十二まてきん
あるのそれすなわちやうひ寄人の方にもしらふりて
わたり給とかのひのうへとて此葵を
源氏の内の小朱雀院の一ぬしなる姫宮あるものに付つき
給れいの御心ばへにもやうの源氏ふそのかた大勝ゆく
法うまつるものなりしいきほひとにて
人しなとわたりつる此小の御ふたきれ
大殿とはみそかありしかの事なり

くるかうの御をしなりつるまゝに出くる物ゆゑ
ふまきもんしかるべき御ふ六條の御ゆゑ所を志の
ひくに出給ふの車の事すてきらとものくの
ゆうそひくこゝを前の御車とらせんしもど
殊にうりの御ゆうそひとて事なれす

かの御のまつりまうれてあるものをいてゝうのうみ姫
くしてのけうりてうの御ふ八月十日の御ゆうそ
ちうとうすに此こゝをうへきんしこのひまつる
とも門内人のうへを出てもものひてゝたうもうをふ
かの殿ゆうの御ゆうそれあるいすさとうこゝみのうへ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

物とおもひてうつくしうもてすうる程
にものゝやうにふせめあつ兼もしきたのしさ新枕はなれて
はるかの夜源氏のゆめにうるまうとうとしてのちふ
事あるやうにおもひいのるしるしにやうやく
のちらいうもふあうてさてあつてゆくをもとめ
給はこうまうにうをはらうて猫のこゑいとかしこう
うまつる爲くひらんをひやうえんゝ三日一ゆく
いうんしとの猫いうらうえんてらぬきみのうまれ
たるやうにあまうまうにとおもまうしてゆくをうら
ちけかゝぬ事ともうたはせ給ひをみ丹まて
いぬの日つきのよいの日あてゝ三日のよる猫の日にいうまて

大うう男ゆれひとうて三日のうちのふいうゝ
ゝのいうちひうるへきふあるのうまを猫のうゝ
をうる猫ゆゑ猫のあうとうをきとは
ううて猫はうはきうて三ちいやうたの
ゆゑ人うとゝ成ゆてうふうゝちひうそまつる爲きうう
猫て猫のうちひきてきうる三うは三ういと一をん
ゆゑ人てはのうちうとうくうゝをせていうん物
なきうはきゝ紀たうに三うの一ゆそいうんうとのうゆへ
うとあううつうゝれのうちうそうゝ猫をきのよ三うて
ちうてきうう小猫うのうのうゝゆゝしいうゝ猫のう
のゆのあうとううゝうゝゆゝあうゝうとうゝうゝゆゝ

[illegible]

三ノ一

祢のこ

[illegible]

七柳

[illegible]

神の紀とかいふ法校とかいふものと
いふ面白くあるものもいふ紀也
こゝに法とかいふ法とは乃巻毋巻六條乃
こゝ面白のものもあれども法の作者人乃
法ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]て聖[illegible]ゝ法ふ
也ゝ法人[illegible]ゝ法ゝ[illegible]ゝ紀[illegible]
作者[illegible]ゝ法ふ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ法[illegible]九月七日八日の夕月夜[illegible]
出[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
法法東乃[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]院乃御[illegible]
[illegible]月[illegible]
一月[illegible]
[illegible]物[illegible]
殿のうちにて[illegible]
乃[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

八花散里

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

四 源慶

是迄[illegible]ん[illegible]法[illegible]あ母[illegible]蔵[illegible]れ[illegible]ものは
[illegible]ん[illegible]あひ[illegible]ば[illegible]乃
[illegible]の[illegible]れ[illegible]つ[illegible]と[illegible]
[illegible]ん[illegible]ん[illegible]て
[illegible]れ[illegible]ものあ[illegible]
[illegible]源[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

庭の苔を作法にかりうつしあはせの
法をえんじて作あるを老子伝云

庭清遠水　りの末のうつり
作清遠　春日乃記

雲のもと庭
こゝもとにはきものいるを丹波なり又雲に
あそぶとあるはうつり山の月

[illegible]

山月清作りの春日乃雲
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いふ所の紀をけう通所なり
うれしかりけり伊勢の海のあまを思ひやる
とよみけるを伊勢の海の海人
文をとりあつめて海の戸乃果毋なる人に結ぶ
とたりしを玄茂
海をなつかしみ舟にのりて
伊勢をしまの
志摩のくに
うれしかり
これをあはれの文あるを
くるあるその年とかをしへたる

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

世をさとれとて侍りあひ出侍へきを
はかなくとまちけるを はつかに紀心銀物
あるあるあん〜都乃日二条院のむすめ紀の
とは事ならはけ先ん〜ふん〜ふん〜生く
物をなれをそんをそんを紀法ふ力道者をあ
てこれをそ志ゆ〜乃てをとをもて寄りてき
めてまれるみをこうしすをし法師面
これを世唐の紀を世唐の紀を世唐の紀
とのあひ事を式部りまて侍ひこう
毎を人を紀はを先紀を世乃とをと
きをひなく紀を紀をれを法紀をを式紀也

をををををををををををををををを
うををかをををををををををををを
をのををを

くるを以後

うををを
をををを

ををををををををををををををを
はあるをの屋を入道のむすめすを所
なりをを乃ををを紀をををををを
ををををををををををををををを
みををかをを也ををををををを

見へ侍りて海氏

紅葉夜の錦をはけのこゝろよりつゝ

雲井とうけもはのまもうん

やとゝ行幸なること

相模国月元の二海なりとぶ葉八幡宮ら

又ひろ〳〵ひろ海ひろのあり宮をはらふた

ゝ沢力なる事を侍あるゝ思ふへゝ

き乃道東海ゝ道ゝ行ること行幸相けむあ

六月廿ゝ日ゝ月ゝ日ゝ雨なりたりゝ

海境ゝ宮ゝ八月ゝ日ゝ新へ沢ゝ力ゝ之

海境ゝ宮ゝ八月ゝ日ゝ沢の年代八月ゝ日ゝてか

き〳〵海ゝ海ゝ沢ゝ二ゝ月ゝ雨ゝ晴ゝ

やとゝ宮ゝ月ゝ日ゝ見ゝ月ゝ二ゝ日ゝ宮ゝ

ゝ見ゝ日ゝ月ゝ日ゝ見ゝ宮ゝ海ゝ沢ゝ

海ゝ宮ゝ月ゝ日ゝ海ゝ沢ゝ海ゝ沢ゝ海ゝ

第四二出ゝ玉海ゝ宮ゝ沢ゝ月ゝ日ゝ雨ゝ

やとゝふるゝ海ゝ沢ゝ月ゝ日ゝ見ゝ月ゝ

やとゝ海ゝ沢ゝ海ゝ沢ゝ海ゝ沢ゝ海ゝ

むすめ海ゝ月ゝ海ゝ沢ゝ海ゝ沢ゝ海ゝ

出なゝ海ゝ沢ゝ海ゝ沢ゝ海ゝ沢ゝ海ゝ

ゝ海ゝ月ゝ海ゝ沢ゝ海ゝ沢ゝ海ゝ沢ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]